

白いとうもろこし 産地化めざし尽力

東松山市・松本創一さん



【埼玉】東松山市の松本創一さん(40)＝写真＝は、結婚を機に妻の実家に就農。「白いとうもろこし」やカリフラワーなどを市場出荷している。市戦略作物研究会の会長も務める松本さん。市と連携し、新たな戦略作

物として白いとうもろこしの産地化に取り組んでいる。

「東松山ハニーホワイト」の名称で販売されるトウモロコシは生で食べられるくらいみずみずしく、果物のような甘さが特長。収穫のタイミングで

により品質が左右するため、一本一本収穫の時期を見極めて収穫する。

松本さんは「消費者に一番良い状態で届けられるよう、一度に収穫せずベストなタイミングでの

収穫を心がけている」と話す。今後は、「新たに農業を始める人のモデルとなれるよう、栽培技術の向上と作業の効率化に努めていきたい」と思いを語った。